



げんきな子 がんばる子 やさしい子

園だより

3月号

北区立さくらだこども園
園長 西澤 尚子

大好きなことが支えとなる

今年の2月は立春を迎えた後に雪が降ったり、4月の陽気になって半袖で過ごせる日があったり、強風で歩くのもままならないような日があったりと、変化の多い日々でした。今年度も最後の1ヶ月となり、4月には子どもたちみんなが新しい環境で生活することになります。

これまでの育ちを、幼児一人一人が自分で実感して、自信をもって次に進むための時間にしていきたいと思っています。

さくらだこども園では2月に3、4歳児が生活発表会をしました。学年に応じてですが、表現することを楽しみ、自分の出番、役割を意識し、学級の友達みんなと一緒にすることを喜ぶ様子が見られました。また、保護者に観てもらふこと、応援してもらふことに緊張もありながら、楽しみな思いでいる様子も見られました。

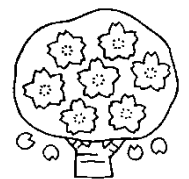
今、各学年とも、幼児が作った雛人形を園内に飾っています。子どもたち一人一人が人形に思いを込め、きれいな着物を着せ、丁寧に顔を描いて作りました。そばを通りかかると「ねえ、見て！これ私が作ったの！」「僕の(雛人形)はどれだと思う！」とうれしそうに自分の作った雛飾りを紹介してくれます。着物の柄、扇や冠などの小物、人形の表情など、自分がこだわって選んだり作ったりしたことを話してくれます。

様々な表現を楽しみ「これはおもしろい」「好きだなあ」「もっとやってみよう」と思えることがあると、新しいことに出会っても自分が好きだと思えるところを見付けやすいと思います。お子さんの気持ちを支える、「私の好きなこと」は何でしょうか。好きなことがもっと増やせることに期待を膨らませて、4月を迎えられるといいですね。

今年度も、保護者、地域の皆様のご理解と多くのご協力をいただき、一年間過ごすことができました。ありがとうございました。これからも地域の子どものとして育つ子どもたちと、地域の子どものを育てるさくらだこども園を温かく見守っていただきますよう、お願い致します。

—今月の指導のめあて—

- 〈3歳児〉
 - ・遊びや生活の中で、自分の思ったことを自分なりに表したり、友達の言っていることを聞いたりしながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・大きくなったことに嬉しさを感じ、進級を楽しみにする。
 - ・栽培物の生長を喜んだり、季節の歌を歌ったりしながら春を感じる。
- 〈4歳児〉
 - ・気の合う友達と部分的にイメージを共有しながら遊ぶ中で、自分の思いを言葉で表したり、相手の思いに気持ちを向けたりする。
 - ・年長児になることへの期待をもち、自分の身の回りのことやみんなでする活動に進んで取り組もうとする。
- 〈5歳児〉
 - ・学級や学年の友達とのつながりを深め、互いのよさを認め合いながら、生活や遊びを進めていく。
 - ・自分が成長したことに喜びを感じ、自信をもって行動する。
 - ・園生活を存分に楽しみ、就学に期待をもつ。



保護者の皆様には、親子での能登半島地震義援金への募金にご協力をいただきありがとうございます。3月19日まで登園時に募金箱を置きます。集計して送金した金額は、3月22日に配信メールでお伝えします。